

## 臨床研究に関する公開情報

平成 29 年 9 月 11 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡ください。解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

### <概要>

研究課題名：「小児救急搬送症例のバイタルサインに関する多施設共同後方視的観察研究」

研究期間： 2018 年 12 月までを予定しています。

対象：2013 年 1 月から 2015 年 12 月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて神戸市消防局救急隊により搬送された症例

研究目的： 救急搬送中の小児のバイタルサインと患者転帰の関係を明らかにし、既存のバイタルサイン標準値の妥当性を評価することを目的とする。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、既往歴、救急要請日時、救急要請理由、呼吸数、心拍数、血圧、経皮的酸素飽和度、体温、救急隊による重症度判定、救急隊による介入の有無・種類・その理由、病院到着後の呼吸数、心拍数、血圧、経皮的酸素飽和度、体温、病院到着後に要した介入、転帰等(可能な限り具体的に書く。)があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

研究責任者： 菅 健敬

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科  
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77  
TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001